【第５８期　メンバー募集のご案内】　　2024年４月25日(木）スタート

R&Dスタッフによる異業種交流・相互啓発・人的ネットワーク形成の場

R＆Dマネジメント交流会議

開催にあたって

R&Dマネメント交流会議は、R&Dスタッフの相互啓発と異業種交流を目的として1967年の創設以来、メンバー間の活発な研究と討議を積み重ね、おかげさまで58年目の活動に入ります。
第58期となる今期も、社会的課題の解決を視野に「VUCA時代における、企業の成長と持続的発展を実現するR&Dマネジメント」を主題テーマに掲げ、メンバーシップを基本に互いに学び合い、R&Dマネジメントのあるべき姿を探求する場として活動してまいります。 異業種間による情報交換や人的ネットワークの形成、さらには各自の課題究明、自社展開の絶好の機会として、熱意ある皆様のご参加をご期待申し上げる次第です。

※ 入会ご検討中の方は、第1回例会に限り体験参加頂けます(要事前予約)。

開催要領

開催期間：２０２４年４月～２０２５年３月（全12会合）
日　　時：年間プログラムの開催日程に沿って開催（13:30～17:00）
開　　催：開催当初は「オンライン(Zoom)と会場開催(都内会議室)」での併用開催。
※第3回例会(合宿研究会)より、原則会場開催を予定。

＜第１回例会＞　2024年４月２５日(木)　13:30～18:00　　オンライン(Zoom)と会場の併用開催

【基調講演①】 Deep Tech（ディープテック）
～世界の未来を切り拓く『眠れる技術』～

（ご講演） 株式会社 リバネス　代表取締役ＣＥＯ　丸　幸弘　氏

2002年大学院在学中に理工系大学生・大学院生のみでリバネスを設立。
日本初「最先端科学の出前実験教室」をビジネス化。異分野の技術や知識を組み合わせて新たな事業を創る「知識製造業」を営み、アジア最大級のディープテックベンチャーエコシステム「テックプランター」の仕掛け人。
世界各地のディープイシューを発掘し、地球規模の課題解決に取り組む。
【主な著書】『ディープテックＤｅｅｐＴｅｃｈ 世界の未来を切り拓く眠れる技術』』（日経ＢＰ）『知識製造業の新時代』（リバネス出版）など。

【オリエンテーションとメンバー交流】

＜第２回例会＞　2024年５月２３日(木)　13:30～17:00　　オンライン(Zoom)と会場の併用開催

【基本解説①】R&Dマネジメントの「基本的考え方」と「研究企画部門の役割」
（ご講演）本会議 コーディネーター　髙橋 富男 氏
（元 東北大学特任教授　産学連携推進本部 副本部長、住友金属鉱山 ㈱ 研究開発本部開発企画部長 ）

【グループディスカッションと問題意識の交流】

＜第３回例会＞　2024年６月21･22日(金･土) 合宿研究会　（静岡県御殿場方面での宿泊研修を予定）

【メンバー討議】メンバー各社におけるR&Dマネジメントの現状と課題
「メンバー交流シート」を活用し、参加メンバーの課題意識を共有するとともに,
課題解決に向けた方策とそのための今後の議論の方向性を考察します。

＜第４回例会＞　2024年７月25日(木)　13:30～17:00

【基本解説②】 VUCA時代の価値づくりと
元気な組織をつくるＲ＆Ｄマネジメント
（ご講演）本会議 副コーディネーター／日本化粧品技術者会　植村 真樹 氏
（元 ㈱ 資生堂　フロンティアサイエンス事業部長）

【グループディスカッションと問題意識の交流】

参加対象

- R&Dマネジメントについて明確な問題意識を持ち、積極的な意見交流を希望される方々
- 事業会社のR&D企画部門を中心に、R&Dマネジメントに携わる方々

※コンサルティング関係の方々のご参加はご遠慮いただいております。

年間スケジュール： 2024年4月～2025年３月(全12回/13:30～17:00を原則)。

第1回 2024年 4/25(木)	【基調講演①】Deep Tech（ディープテック）～世界の未来を切り拓く『眠れる技術』～ 株式会社 リバネス 代表取締役ＣＥＯ 丸 幸弘 氏 【オリエンテーションとメンバー交流】
第2回 5/23(木)	【基本解説①】Ｒ＆Ｄマネジメントの「基本的考え方」と「研究企画部門の役割」 本会議コーディネーター 髙橋 富男 氏 【グループディスカッションと問題意識の交流】
第3回 6/21、22 (金・土)	【合宿研究会：メンバー討議】メンバー各社におけるＲ＆Ｄマネジメントの現状と課題 「メンバー交流シート」の活用により参加メンバーの課題意識の共有と、 課題解決に向けた方策や、今後の議論の方向性を探ります。
第4回 7/25(木)	【基本解説②】VUCA時代の価値づくりと元気な組織をつくるＲ＆Ｄマネジメント 本会議副コーディネーター 植村 真樹 氏 【グループディスカッション】研究から開発、事業化へのプロセスとスタッフの役割
第5回 8/22(木)	第5回例会以降は、下記の時間構成で進めてまいります。 第１部：13:30～15:00 ・ゲスト講演 ・メンバー発表 → 第２部：15:00～17:00 ・グループディスカッション ・テーマ別分科会討議*
第6回 9/12(木)	
第7回 10/10(木)	【主な「ゲスト講演テーマ」や「分科会・研究討議テーマ」の例示】 ■テーマ･マネジメント(探索、推進、評価･･･) ■Ｒ＆Ｄ成果の事業化とイノベーション創出 ■競争力を高めるＲ＆Ｄ戦略の立案 ■Ｒ＆Ｄにおける組織と人財のマネジメント ほか、メンバーニーズに基づき設定してまいります。
第8回 11/14(木)	
第9回 12/12(木)	【*テーマ別分科会とは】 関心テーマ別に固定メンバーによるチームを編成し、複数回にわたり集中討議を行います。 異業種各社のメンバーが各々の知見を持ち寄り、自己課題解決の考え方、コンセプト､具体的な実践方策を研究・討議いたします。
第10回 1月中下旬 (金・土)	【参考：前期(第57期)のテーマ別分科会テーマ】 ■ＶＵＣＡ時代における「Ｒ＆Ｄ戦略」の策定（7社8名） ■イノベーションを生む「テーマの創出」と「事業化成功の秘訣」（9社9名） ■「個」を活かしイノベーションを生み続ける組織づくりとマネジメント(14社16名、２チーム)
第11回 2/20(木)	【合宿研究会】第３回例会＜6/21～6/22(金・土）＞、第10回例会＜1月中下旬（金・土)＞で開催 ■一泊二日にわたる合宿研究会は、メンバーが抱える問題や課題について相互に学び合い、知的交流を深め、人的ネットワーク構築の好機です。
第12回 3/13(木)	【最終例会】分科会活動成果の発表会：今期の振り返りと新たな課題意識の共有

運営体制：本会議の企画運営およびサポートを頂きます。

【運営幹事】
実務家数氏にご依頼中

【コーディネーター】
高橋 富男 氏　元 東北大学特任教授 産学連携推進本部 副本部長
元 住友金属鉱山㈱ 研究開発本部 開発企画部長

【副コーディネーター】
植村 真樹 氏　日本化粧品技術者会 東日本支部 事務局
元 ㈱資生堂 フロンティアサイエンス事業部長

【アドバイザー】
東　研一氏　ダイキン工業㈱ テクノロジー･イノベーションセンター担当部長

研究テーマの例示

第58期主題：VUCA時代における企業の成長と持続的発展を実現するR&Dマネジメント

企業競争力を高めるR&D戦略の立案

◆R&Dを方向づけるビジョン、経営戦略とR&D戦略の整合性
◆コア技術の明確化と強化、拡充
◆コーポレート研究と事業部門研究のミッションと連携
◆将来の市場、技術予想とロードマップの作成
◆「選択と集中」の技術ポートフォリオマネジメント
◆R&D部門のグローバル化対応

テーマ・マネジメント（探索、推進、評価）

◆テーマ探索の具体的方法とマネジメント
◆コア技術戦略の布石、融合、展開
◆社会トレンドとテーマ設定の方向性
◆テーマの発案と評価、推進のマネジメント
◆研究フェーズと開発フェーズのマネジメントの相違

R&Dマネジメントの役割と目的

◆R&Dの目的とイノベーション
◆企業とイノベーション創出
◆R&Dでのリーダーシップとマネジメント
◆勝てるR&D戦略、差別化戦略、知財戦略
◆経営にインパクトを与える成果を得る仕組みづくりとサポート体制の整備
◆R&D部門における企画の役割

R&D成果の事業化と新規事業創出

◆事業価値を考えたR&D成果の活用
◆R&Dとマーケティング、オープンイノベーション
◆プロジェクト推進とゲート評価
◆研究から開発、事業化へのプロセス、死の谷の克服
◆新規事業創出の要件
◆ビジネスモデルの探求とテーマ創出

組織と人材のマネジメント

◆組織を不活性化させない仕組みづくり
◆創造的組織、風土の醸成
◆カオスと秩序のバランス
◆創造的人財の発掘と育成

これまでの参加者の声

❖他業種の皆様と様々な課題を共用できたことはとても有意義でした。事業戦略に沿った、自社/自部門のコア技術を生かした顧客価値とは具体的に何か？を今一度よく考え、研究開発に取り組んでいきたいと思います。

❖皆様のサポートで意見の発散から収束させていく過程を経験でき、本会議の素晴らしさを知った。この経験を自社での活動に活かしたい。

❖議論を重ねる中で、一つの方程式に到達した時は、感慨深かった。そしてそれを中期計画の資料にすぐ活用でき、充実した一年となった。

❖皆様との活動がまさに「Ｄ＆Ｉ」で大変有意義でした。今回議論して導き出した成果を基に「個が活きる」組織づくりができるよう自社に展開します。

❖方程式の各要素の重要性は分かっていたつもりだったが、方程式の形となることで各々の関係性が整理され、理解が深まった。自社にフィットする重みづけを考えたい。

❖「社会課題を自らが解決するのだ」と強い意志を持った組織を目指し、アイデア提案の場や人材育成など新規事業創出の組織作りに注力します。

前期（57期）活動内容　（2023年４月～2024年3月：全12会合実施）

第1回	【基調講演】OODA Management ～現場判断で成果をあげる次世代組織のつくり方　神戸大学大学院 経営学研究科 教授 様 【オリエンテーション／グループディスカッション～自己・自社紹介と課題意識の共有～】
第2回	【基本解説①】R&Dマネジメントの基本的考え方と研究企画部門の役割　本会議 コーディネーター 髙橋 富男 氏 【グループディスカッション】企業の成長に寄与するR&Dマネジメントとは？
第3回 合宿研究会	【メンバー集中討議】 メンバー各社におけるR&Dマネジメントの現状と課題 ～メンバー交流シートをもとに課題意識の共有、意見交換～
第4回	【基本解説②】VUCA時代の価値づくりと元気な組織をつくるＲ＆Ｄマネジメント　本会議 副コーディネーター　植村 真樹 氏 【グループディスカッション】研究から開発、事業化へのプロセスとスタッフの役割
第5回	【ゲスト講演】市場・技術の未来予測と研究開発テーマ創出、管理のポイント　アサヒグループ食品㈱ 技術開発一部 部長 様 【ゲスト講演を受けてのグループディスカッション・意見交換】
第6回	【ゲスト講演】研究開発の価値評価～イノベーション時代の費用対効果の実践的な考え方～　㈱ テクノ・インテグレーション　代表 様 【テーマ別分科会討議、第１回】
第7回	【ゲスト講演】2050年カーボンニュートラルへ再生エネルギーの活用法　自然エネルギー財団 シニアマネジャー 様 【テーマ別分科会討議、第２回】
第8回	【ゲスト講演】テーマ推進リスクを乗り切る予見力　㈱Ｆ＆Ｉコンサルティング　シニアコンサルタント 様 【テーマ別分科会討議、第３回】
第9回	【分科会中間報告会】これまでの議論の様子や今後の方向性などを報告 【テーマ別分科会討議、第４回】
第10回 合宿研究会	【ゲスト講演】最近の技術経営マネジメントの動向～未来を予測するか、未来をつくるか～　立命館大学大学院ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研究科 教授 様 【テーマ別分科会討議、第５回】
第11回	【テーマ別分科会討議、第６回】これまでの議論の整理と成果報告に向けての集中討議
第12回	【分科会活動報告会】議論・研究討議の成果発表と成果資料交換・全体共有

前期（57期）参加企業一覧

※企業名50音順

ＡＧＣ	材料融合研究所 開発推進チーム　DDP支援パートナー
ＡＧＣ	材料融合研究所　開発推進チーム　マネージャー
味の素	ﾊﾞｲｵ･ﾌｧｲﾝ研究所 研究管理部 企画・推進グループ
味の素	ﾊﾞｲｵ･ﾌｧｲﾝ研究所 研究管理部 基盤・ガバナンスグループ長
オリンパス	R&D Strategy,Global R&D Organizational Health,Global
オリンパス	R&D戦略部 シニアマネージャー
オルガノ	開発センター 用純回収グループ グループリーダー
キユーピー	研究開発本部グループ R&D推進部 し
コニカミノルタ	研究開発企画部 先端リサーチＧ マネージャー
シスメックス	技術戦略本部 R&D推進部 技術人材開発課長
積水化学工業	社長室 政策調査グループ長
積水化学工業	新事業開発部 電池事業創出グループ 企画ユニット 係長
セントラル硝子	New-STEP研究所
第一三共ヘルスケア	研究開発部　企画グループ長
ダイキン工業	ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ・ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ担当部長
太陽誘電	開発研究所 開発企画部 次長
太陽誘電	開発研究所 開発企画部
テルモ	人事部 HRBP(CTO管轄 兼 心臓血管ｶﾝﾊﾟﾆｰ)部長
豊田合成	ＳＳ開発部 グループリーダー
ナミックス	経営企画室 シニアグループマネージャー
パナソニック	くらしﾌﾟﾛﾀﾞｸﾄｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ本部 戦略企画部　課長
ファンケル	総合研究所 研究戦略推進室 研究企画グループ 係長
ファンケル	総合研究所 研究戦略推進室 研究企画Ｇ 次長
ファンケル	総合研究所 研究戦略推進室 次長
ホーユー	製品開発第1研究室　製品開発C2課 課長
三菱鉛筆	技術企画室 室長
村田製作所	技術管理部 マネージャー
森永製菓	研究所 健康科学研究センター センター長
ヤマハ発動機	企画・財務本部ｺｰﾎﾟﾚｰﾄｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ部 広報ｸﾞﾙｰﾌﾟ 主管
ヤマハ発動機	技術・研究本部 NV・技術戦略統括部 技術戦略G 主事
ＬＩＸＩＬ	技術企画部 部長

参加要領

【事業コード：240028】

■ 参加費／１名様

正会員：297,000円（本体価格 270,000＋税）
一般　：330,000円（本体価格 300,000＋税）

※上記料金は資料代・通信費などを含んでおります。
※合宿研究会など実施の際は、参加費を別途ご請求致します。
※参加費の分割支払いや請求品目変更も可能です。
　お気軽にご相談ください。

■申込方法

企業研究会のウェブサイトで

R&Dマネジメント交流会議　検索

「お申込はこちら」からお申し込みください。
※お申込みをいただいた方（含む体験参加の方）には、
　第１回例会のご案内をメール送信いたします。

■体験参加

第1回例会（4/25）は、参加をご検討中の方に、
本会議の雰囲気をご覧頂く体験参加が可能です。
　要：事前予約。
※「体験参加」は、正式参加メンバー募集の一環として
　ご案内しております。
　体験参加後、正式ご参加をいただく際、正規のご参加
　費を申し受けます。

■お問合せ・お申込先

一般社団法人 企業研究会　担当:小野原（おのはら）
E-mail：onohara@bri.or.jp
TEL: 080-1393-5593 (直通)
〒110-0015　台東区東上野1-13-7 ハナブサビル